

Data Message Standards

PPIHグループ 流通BMS「DMS」

運用ルール 流通BMSプラン・Web型BMSプラン (対象法人：ドン・キホーテ/長崎屋/UDリテール/橘百貨店)

流通BMSプラン

Web型BMSプラン

Ver.3.01

2025年4月以降適用運用ルール

REALIT
株式会社リアリット

バージョン	変更内容	変更年月
Ver.2.00	Ver.1.9から2.0にて、全体見直しと反映 ※Ver.1.0からVer.1.9の変更履歴割愛。 詳細はお問い合わせ下さい。	2023/3/22
Ver.2.01	契約締結方法の変更に伴う、内容・表現の修正	2023/8/28
Ver.2.02	お問い合わせ先の受付時間の修正	2023/12/19
Ver.3.00	機能改修の仕入計上方法変更による 納品明細書廃止にともなう運用ルールの変更	2024/6/6
Ver.3.01	機能改修の仕入計上方法変更による 納品明細書廃止にともなう 運用ルールの追加変更	2025/2/10

この度はDMS（Data Message Standards）にお申し込みいただき、誠にありがとうございます。

本資料はDMSをご利用するうえで遵守いただく運用ルールを記載しております。必ず内容をご確認のうえ、DMSをご利用いただきますようお願い申し上げます。

運用ルールに抵触した場合や店舗運用に支障をきたす場合は、リテール企業との各種契約及びDMS利用契約に違反する可能性がございます。

また、運用ルールに抵触した場合、契約に基づき本サービスの一時停止もしくは解約をさせていただく可能性がございますので、予めご了承ください。

この度はDMS (Data Message Standards) にお申し込みいただき、誠にありがとうございます。
DMSをご利用いただくにあたり、以下につきましてご確認をお願いします。

1 DMSサービスのご利用とご利用いただけない取引について

◆DMSサービスのご利用について

DMSサービスのご利用は、当グループからの受発注をインターネット回線を利用したデータ交換及びweb画面操作での処理が可能で、発注に対して納品先店舗ごとに仕分けのうえ自社での納品（直送）やPPIH提携物流センター経由での納品が可能な場合にご利用いただけるサービスです。

◆ご利用いただけない取引について

DMSサービスでは、以下に該当する取引の場合はご利用いただくことが出来ない可能性がございますので予めご了承ください。サービス利用可否については、弊社までお問い合わせください。

【DMSサービス対象外取引】

- ・現金取引
- ・知財商品を各店舗へ直接納品できない場合（知財管理部経由で店舗納品を行う場合）
- ・委託取引
- ・伝票を使用しない取引
- ・後発注の取引

2 オプション・任意取得データについて（要申込）

流通BMSプラン・Web型BMSプランの標準機能に加えて以下の機能をオプション設定や任意取得データとしてご用意しています。ご希望の場合、弊社までお問い合わせください。

◆グロス納品（総量持込）設定について

納品される商品がフード・リカー（生鮮品除く）に限りご利用可能なオプションサービスで、対象のPPIH提携物流センターと別途ご契約が必要です。貴社へ連携する発注データ（FAX発注分を除く*発注FAXデータを取得しているパートナー様も連携されません）をPPIH提携物流センターへも連携することで、PPIH提携物流センターでの仕分けが可能となります。利用可否やPPIH提携物流センターとの契約について不明点がございましたら当グループ担当MDへお問い合わせください。

◆複数受信設定について

発注データを店舗単位で任意のグループごとに分けての送信が可能です。

◆支払データ

支払データとは、当グループ締め期間（当該月末及び翌月5日まで）に計上された仕入データを伝票単位、明細単位、店舗単位で貴社にて加工可能なファイルにて提供するサービスです。データの配信は毎月10日頃となります。

◆発注FAXデータ

DMSサービス利用開始後に発生するFAX発注も一部データでの取得が可能です。対象は日立システムズよりPDFで送信されるFAX発注分となり、PDFデータを変換しての送付となりますので、通常の発注分と連携されるファイルは区別されますが、受信後に貴社にて出荷データの作成が可能となり、チェーンストア伝票の作成が不要となります。

3 DMSお申し込み後から本番稼働の流れについて

DMSお申し込み後、お申し込み内容に関しては弊社より、システムテストに関しては日立システムズよりそれぞれご連絡を差し上げます。まず始めに弊社よりメールにてご連絡させていただき設定シート（流通BMSプランは協定シート含め）に、必須事項をご記入のうえ、メール送付元及びCC共にご返信ください。※設定シート及び協定シートのご返信がないとシステムテスト等に進めませんのでお早めに送付ください

◆「設定シート」について

i. シート内「(5) EDI情報」の項目は取得データに関わりますので、必ずご参照ください。

必須データ	① 伝送制御手順※1	ebxml手順 《流通のみ》締め時間ごとにパートナー様のサーバへデータ送信	
	JX手順	《流通のみ》パートナー様の必要なタイミングでデータを受信	
	② 利用データ※2	発注	《流通・web》必須項目のため、必ず取得に○。
		出荷	《流通・web》必須項目のため、必ず取得に○。
		受領	《流通・web》必須項目のため、必ず取得に○。
		受領訂正	《流通・web》必須項目のため、必ず取得に○。

任意データ	② 利用データ	発注-FAXデータ	《流通・web》任意項目のため、希望の場合のみ○を記入。
	支払(伝票単位CSV)	《流通・web》任意項目のため、希望の場合のみ○を記入。	
	支払(明細単位CSV)	《流通・web》任意項目のため、希望の場合のみ○を記入。	
	支払(店舗単位CSV)	《流通・web》任意項目のため、希望の場合のみ○を記入。	
	支払(伝票単位XML)	《流通のみ》任意項目のため、希望の場合のみ○を記入。	
	支払(流通BMS伝票単位CSV)	《webのみ》任意項目のため、希望の場合のみ○を記入。	
	支払(伝票単位固定長TXT)	《webのみ》任意項目のため、希望の場合のみ○を記入。	
	支払(明細単位固定長TXT)	《webのみ》任意項目のため、希望の場合のみ○を記入。	

※1 ①伝送手順は、流通BMSプランのパートナー様のみどちらかを選択となります
 ※2 ○印はデフォルトで入っていますので、例外を除き外さないでください。

◆テスト完了と本番稼働について

本番稼働日の確定は、日立システムズとのシステムテスト完了が必須です。
 システムテストの完了がないと本番稼働はできませんので、お急ぎの場合はご注意ください。
 ※お申し込みから稼働までの流れは別紙1を参照ください。

◆「グロス納品（総量持込）」設定のオプションお申し込み後の流れについて

- i. ご利用されるPPIH提携物流センターにつきましては、お申し込み後別途送付させていただき設定シートにご記入のうえ、ご返信ください。また、PPIH提携物流センターを変更される場合は必ず弊社にご連絡をお願いします。
- ii. 新店追加の際、設定内容を事前にメールでご連絡いたします。設定内容に変更が必要な場合は、必ずご連絡をお願いします。

※ グロス納品設定の詳細はDMS専用Webサイト「<https://dms.realit.co.jp/docs/>」の資料ダウンロードより、「グロス納品設定について」をご参照ください。

◆「複数受信」設定のオプションお申し込み後の流れについて

- i. 店舗単位で任意のグループにグループ分け可能な営業区分につきましては、お申し込み後別途送付させていただき設定シートにご記入のうえ、ご返信ください。
- ii. 新店追加の際、設定内容を事前にメールでご連絡いたします。設定内容に変更が必要な場合は、必ずご連絡をお願いします。

4 納品精度について

◆納品精度の確認

当グループでは出荷データでの仕入計上に対する納品精度を担保するために、店舗での検品を実施させていただくがございます。

検品の結果で不備が見られた場合には、当グループより個別に状況確認及び改善の依頼をさせていただくこともございますので、正しい運用でのご対応をお願いします。

改善状況によりましては、本サービスの一時停止もしくは解約にてご利用を停止させていただく可能性がございますので、予めご了承ください。

◆受注から納品フローについて

DMSご利用開始以降はデータで受発注、仕入計上となり、FAX発注、チェーンストア伝票での仕入計上から納品業務が変更となります。出荷データの設定や納品については正しい運用を十分ご確認の上、ご対応をお願いします。※詳しくは「3.運用時のルールについて」及び「別紙2」をご確認いただき、不明点などございましたら弊社までご連絡をお願いします

5 その他

◆本番稼働後の最初のデータ受信について

本番稼働日15時以降よりデータにて受信可能となります（グロス納品設定オプション利用パートナー様を除く）。本番稼働日であっても15時以前の発注はデータが連携されませんので、チェーンストア伝票でのご対応をお願いします。

◆サービスメンテナンスについて

毎週月曜日の2:00から5:00の間はご利用いただけませんのでご注意ください。

◆データ保持について

発注、出荷、受領、受領訂正のデータ有効期間は3ヶ月となります。

◆Web画面のID数について

1つのパートナーコードに対して、最大5つのIDまで同時ログインが可能です。追加IDの発行をご希望の際には、日立システムズまでご連絡ください。

◆導入後のプラン変更について

プラン変更の際は、初期設定費が再度発生します。詳細は弊社までお問い合わせください。

1 発注データについて

◆発注データの受信時間について

- i. DMS稼働後は、30分ごとに発注データを配信いたします（グロス納品設定オプション利用パートナー様を除く）。
- ii. 受注締め時間に関しては、当グループ担当MDや店舗との取り決めに沿った時間にて運用をお願いします。

◆発注データ到着通知機能について

発注データ発生時に貴社ご担当者様宛にデータ到着通知メールでお知らせを行います。
通知先アドレスは最大で3つまで登録することができます。必要に応じてREDISuite上で登録をお願いします。

◆発注FAXデータについて（任意取得データ 要申込）

発注FAXデータの取得をお申し込みいただくと、DMS稼働後に店舗がFAXで発注を実施した場合でも、一部データでの提供が可能です。出荷処理を発注データ同様に行うことでデータでの納品が可能になります。

- i. 発注データ同様に、30分ごとにデータを配信いたしますが、発注データとは別ファイルとなりますのでご注意ください。
- ii. 《Web型BMSプランのみ》発注FAXデータについての注意点
 - ・ 発注FAXデータにつきましては自由使用欄に伝票番号などが記載されている場合がございます。
 - ・ 商品コードで特定できない色やサイズが商品名に指定されている場合がございます。
 - ・ 「出荷検品」の画面には表示されませんので、配信データファイルをご確認ください。
 - ・ DMSサービス対象外の「現金取引」分がデータ連携されることがありますが、出荷処理はできません。※発注FAXデータについて不明点がございましたら弊社までご連絡ください。
- iii. グロス納品設定分がFAX発注された場合（発注FAXデータ取得のパートナー様も含め）、PPIH提携物流センターへのデータ連携はありません。
そのため、FAX発注分は総量持ち込みに含めないでください。
店別仕分けで納品する場合は、契約のPPIH提携物流センターへご確認ください。

◆グロス納品設定（オプション 要申込）ご利用時の発注データについて

- i. グロス納品設定オプションでPPIH提携物流センターが利用するデータは、発注データとなります。FAX発注分（発注FAXデータ取得のパートナー様も含め）は対象外となりますので、FAX発注分をPPIH提携物流センターへ納品する際は、パートナー様で店別にピッキングのうえ納品をお願いします。また、発注日がオプション実施前で納品日がオプション実施後の日付になっている場合についてもパートナー様で店別にピッキングのうえでPPIH提携物流センターへ納品をお願いします。
- ii. PPIH提携物流センター・パートナー様間で取り決められたデータ受信時間外の翌日納品分については対象データの破棄をお願いします。また、納品日に間に合わない商品が発生する場合にはPPIH提携物流センターと差異が出ないように、事前にPPIH提携物流センターと取り決めをお願いします。
※その他実運用につきましては事前にPPIH提携物流センターと取り決めをお願いします。
- iii. グロス1回目の発注データは仮締めを行っているため配信時間前に一度データをセットしておりますが（11時頃）、当グループ運用上、締め時間直前まで発注を行う可能性がございますので、PPIH提携物流センターとの差異が出ないように、1回目の配信時間（12時以降）にて漏れなく受信をお願いします。
- iv. パートナー様起因で、PPIH提携物流センターが受信した発注データと、パートナー様がPPIH提携物流センターに納品された総量に大きな差異が発生し、別車両手配等による追加費用が発生した場合、その費用負担をパートナー様にお問い合わせの可能性がありますので、ご理解、ご協力をお願いします。

2 出荷データについて

出荷データは、仕入計上・商品代金のお支払いのために重要なデータとなります。

また、当グループでは出荷データに基づき店舗にて検収を実施するため、

必ず納品時までには送信をお願いします。

出荷データの内容などについて、関係各部署よりパートナー様へ問い合わせがある可能性があります。

その際には仕入計上に関わるため迅速なご対応をお願いします。

◆ 出荷データの整合性確認

i. パートナー様にて送信いただいた出荷データは、システム上で発注データなどとの整合性を確認します。
データ内容に不備があった場合、事前にご登録いただいたメールアドレス宛てにエラーメールを送信します。

ii. 出荷データ送信後は、同伝票番号でのチェーンストア伝票の作成は行わないようお願いします。
また、データでの発注に対してチェーンストア伝票を作成し、商品と共に送付する場合は、
出荷データの送信は行わないようご注意ください。
万一、同一伝票番号で複数の計上処理が発生した場合は、一番最初に行われた処理が仕入計上に反映されます。

iii. 出荷データ作成時は、発注データの引継ぎ項目を正しく引継いで出荷データにセットをお願いします。

◆ 出荷データ送信完了目標時間

納品日（店着日）の前日（23:59）までに送信を完了してください。

上記時間までに出荷データが送信できていない場合、納品当日で同一店舗には納品日当日分の出荷データが
1伝票分も送信されていない場合に限り、出荷データの送信が可能となります。

納品日当日以降で一部伝票の送信漏れが発覚した場合には、原則チェーンストア伝票でのご対応をお願いします。

◆ 出荷データエラーメールについて

i. 出荷データがエラーとなっている状態で商品を納品された場合、仕入計上ができません。
出荷データ送信後は**必ずエラーメールの有無をご確認いただき**、エラーメールがある場合は内容をご確認のうえ、
該当のエラー箇所を修正した出荷データを必ず納品日（店着日）前までに再送してください。

※エラーとなった出荷データを納品予定日を過ぎてからデータ送信を行う場合、

全件エラーの場合は出荷データの送信が可能です。

1伝票分でも正常処理されている場合、原則エラー分の出荷データ分はチェーンストア伝票でのご対応になります。

納品予定日を過ぎた場合は、必ず納品店舗へご連絡をください。

ii. エラーメールは納品に関わる非常に重要なメールとなります。必ず運用開始前までに複数の方が受信できる
ようメーリングリストなどのご登録をお願いします。なお、送信先メールアドレスの登録方法につきましては、
DMS専用Webサイト「<https://dms.realit.co.jp/docs>」の資料ダウンロードより、
「パートナー情報メンテナンスマニュアル」をご参照ください。

◆ 発注データに不備がある場合

以下の不備については、各不備ごとに当グループ担当者へご連絡ください。

①原単価に誤りがある場合

⇒ 出荷データ上での原単価修正は行えません。必ず当グループ担当MDまたは店舗発注担当者に
該当商品及び誤りのある原単価をご連絡いただき、正しい原単価での再発注を依頼してください。

②商品コード（JAN）が旧商品コードだった場合

⇒ 旧商品コードでも対応可能な場合は出荷してください。次回発注から正しい商品コードで発注するように
当グループ担当MDまたは店舗発注担当者に商品マスタの修正を依頼してください。

⇒ 正しい商品コードでしか出荷できない場合は旧商品コードの出荷数量を「0」で出荷データを送信してください。
ただし、同一店舗・同一納品日にて、全ての商品が該当し納品できない場合、
[該当伝票番号の出荷データを返さない] ください。

また、当グループ担当MDまたは店舗発注担当者に商品マスタの修正及び正しい商品コードで
発注するよう依頼してください。

③自社取扱商品以外の商品が含まれている場合

⇒ 同一伝票内の一部の商品が該当する場合、出荷数量を「0」とし、出荷データを送信してください。
ただし、同一店舗・同一納品日にて、全ての商品が該当し納品できない場合、
[該当伝票番号の出荷データを返さない] ください。

どちらの場合も、次に誤った発注データが送信されないよう該当商品の商品マスタ修正を
当グループ担当MDまたは店舗発注担当者に依頼してください。

2 出荷データについて

◆ 出荷データの当グループ連携時間について

i. 《流通BMSプラン及びWeb型BMSプランデータ連携の場合》

出荷データは1時間ごと（毎時00分）に締まり、当グループに送信されます。データ連携以降の修正はできません。データが締まる前に送信した時刻から次の00分までの間に限り上書きは可能ですが、誤りが無いかを必ずご確認のうえ、データ送信をお願いします。

ii. 《Web型BMSプランWeb画面入力の場合》

Web画面入力操作でのデータ送信は、出荷送信を実行した時点でデータの修正ができません。出荷送信前に誤りが無いかを必ずご確認のうえ、出荷送信の実行をお願いします。

◆ 商品が欠品等の理由により納品できない場合

- i. 同一伝票内の一部の商品が納品できない場合は、該当商品の行は削除せず数量を「0」としデータを送信してください。
- ii. 同一店舗・同一納品日にて、全ての商品が納品できない場合、[該当伝票番号の出荷データを返さない] ください。

◆ 発注された数量から出荷データ作成時に訂正がある場合

- i. 欠品などで発注された数を出荷できない場合は、必ず**実際に出荷する数量をもとに出荷データ**を作成し送信してください。
- ii. 出荷データ送信前に必ず出荷する数量と相違がないか確認を行ってください。
出荷データ送信後、納品数量の変更は原則禁止です。
ただし、商品の欠品・破損・汚損等により出荷データ上の数量が納品できない場合、
単票送り状の備考に訂正内容の記載をお願いします。
※単票送り状の訂正記載内容の詳細はP.12を参照ください。

◆ 出荷データ送信時の納品日（店着日）の設定について

出荷データの「納品日（店着日）」は、仕入計上又は仕入検収上重要な項目となっております。
発注データの納品指定日は特別な指定がない限り、事前に取り決めのあったリードタイムをもとに算出した日付をセットしていますが、何らかの理由により**実際の納品日が納品指定日と異なる場合、必ず正しい「納品日（店着日）」を入力**のうえ、出荷データの送信をお願いします。

- i. 出荷データ上で納品予定日を修正する場合は、PPIH提携物流センターや運送会社の配送リードタイムをご確認のうえ、配送日数を考慮し、正しい「納品日（店着日）」を入力後、出荷データを送信してください。
ただし、万一出荷データ送信後に納品日変更が発生した場合は該当店舗（本部発注分については発注担当者）へ連絡してください。
※店舗直送、PPIH提携物流センター利用関わらず、店舗への納品日を出荷データの納品予定日へ入力してください。
- ii. 出荷データ上の納品日（店着日）は「現在日付から-5日～+14日」の範囲でのみ設定可能です。
※上記範囲を超えた場合エラーとなります
- iii. 店舗への商品納品は原則日曜日を除く、午前9時～12時まで受付（※1）となります。12時より遅れる場合は店舗へ事前にご連絡をお願いします。また、受付時間以降の時間帯に商品を納品された場合、「納品日（店着日）」は、商品を納品された日の翌日（翌日が日曜日だった場合はその次の日）の受付（※2）となりますので、出荷データを送信する際は、商品納品時間も考慮し、「納品日（店着日）」を入力してください。
※1：一部日配商品につきましては、日曜日でも受付しております。
※2：24時～9時までの納品の場合は、当日の午前9時受付となります。
- iv. 長期休暇前後（GW、年末年始等）は、特にPPIH提携物流センターや運送会社が通常とは異なる配送リードタイムとすることがございますので、事前に配送リードタイムをご確認ください。
また、出荷データ送信後、商品の破損・汚損等により「納品日（店着日）」より大幅に遅れが発生する場合には店舗へのご連絡をお願いします。
- v. 海外店舗へ当グループ指定倉庫を利用して納品される場合は、指定倉庫からコンテナ・トラックに積み込みを行った日が「納品日（店着日）」となります。納品曜日等については、各指定倉庫へ直接お問い合わせください。

2 出荷データについて

◆FAX発注「仕入商品発注書」からの出荷データ作成について

FAX で届いた「仕入商品発注書」からでも出荷処理（データ送信）が可能です。
発注の内容をご利用のプランに合わせて出荷処理していただくことは可能です。
※事後発注データが作られるもの（後発注）や現金取引は適用対象外です。

◆「メーカー直送フラグ」の設定が必要となるケース

同一伝票番号内にて、商品の出荷地点が分かれる、または納品日（店着日）が変わる場合、
出荷データの該当行番号には「直送フラグ」を「メーカー直送」としてください。

- ①【同一伝票番号内で納品日（店着日）が異なる商品がある場合】
メーカー直送分の該当行は「直送フラグ」を「メーカー直送」とし、出荷データを送信してください。
出荷データの納品予定日は**同一伝票番号内で最初に納品のある日付**を入力してください。
メーカー直送分以外の商品納品時の単票送り状には該当欄：メ直を「あり」として記載ください。
メーカー直送分の商品には、仮伝票を添付して店舗へ納品してください。
※出荷データの同一納品予定日の中でメーカー直送が1件でも発生している場合は、
メーカー直送分も含めた同一納品予定日すべての仕入計上はずれることがありますので、
特に月がまたぐ可能性のあるタイミングではご注意ください。
- ②【同一伝票番号内で納品日（店着日）が異なる商品がない場合】
メーカー直送分の該当行は「直送フラグ」を「メーカー直送」で出荷データを送信してください。
メーカー直送分以外の商品納品時の単票送り状には該当欄：メ直を「あり」として記載ください。
メーカー直送分の商品には、仮伝票を添付して店舗へ納品してください。
- ③【同一伝票番号内のすべての商品がメーカー直送の場合】
同一伝票番号内すべての行を「直送フラグ」を「メーカー直送」にて出荷データを送信し、
仮伝票を添付して納品してください。
※単票送り状は不要です。

メーカー直送分のフラグがついた商品の納品時には仮伝票をつけてください。
仮伝票記載項目は下記をお願いします。

- * 該当の伝票番号
- * JANコード
- * 数量
- * 発注先パートナー名

※仮伝票にPPIH指定の手書き伝票を使用されると、店舗にて仮伝票かどうかの判断ができず、
二重計上の恐れがございますので使用はお控えください。

★別紙3にもメーカー直送について説明がありますのでご参照ください。

3 単票送り状の運用と仕様について

店舗での納品・計上確認のため、当グループ規定に則った「単票送り状」を商品と一緒に納品してください。

単票送り状に不備があると、納品確認・計上の確定に時間を要することになりますのでご協力のほど何卒お願いいたします。

★メーカー直送分の商品には単票送り状は利用せず、仮伝票を同梱してください。

◆単票送り状の仕様について

i. 単票送り状は、フォーマット通りの項目と配置を原則として作成をお願いします。

※サンプルフォーマットは、DMS専用Webサイト「<https://dms.realit.co.jp/docs>」の資料ダウンロードに「単票送り状フォーマット」をご用意しています。

特にサンプル送付のテストはございませんが、必要項目すべて記載をお願いします。

ii. 単票送り状はA4サイズでのご使用をお願いします。

iii. 流通BMSプランご利用で納品書印刷オプションをご利用のパートナー様及びWeb型BMSプランご利用のパートナー様は、Web画面上から単票送り状の出力が可能です。

iv. 各項目について

あ… 「納品先コード」は納品店舗コードの印字。

い… 「納品先店舗」は納品先の店舗名称の印字。

う… 「GP」は商品のグループの印字。マッピングシート上で「商品分類（大）」の頭2桁が該当します。複数グループにまたがる場合は、納品するSKUが多いGPを印字のこと。

え… 「代表伝票番号」とは、納品日に対して、各店舗ごとに一番若い伝票番号を指します。

例) 府中店/4月1日に伝票番号 (777777 / 888888 / 999999) の納品と

秋葉原店/4月1日に伝票番号 (111111 / 222222) の納品があり。

この場合のそれぞれの単票送り状に印字されるべき代表伝票番号は以下となります。

・府中店…代表伝票番号： 777777

・秋葉原店…代表伝票番号： 111111

お… 「納品予定日」は送信した出荷データの納品予定日を印字。

か… 「個口数」は納品日に納品される荷物の個数を印字。

き… 「×直」は納品日にメーカー直送運用が発生し、納品時に一緒に同梱した単票送り状で納品が完了しない場合に印字。メーカー直送運用については、P10を参照のこと。

く… 「取引先コード」「取引先名称」「問い合わせ先」は

それぞれ貴社パートナーコード、貴社名、店舗より納品内容等についてのお問い合わせが可能な電話番号を印字。

け… 「備考」は出荷データの訂正内容など、店舗へ申し送りが必要な内容を記載

発行日付: 2023年12月27日

単票送り状

あ
う

納品先コード : 00001
納品先店舗 : 府中店
GP : 01

え
お
か
き

代表伝票番号	123456789
納品予定日	2023/12/28
個口数	10
×直	あり

く
け

取引先コード : 123456
取引先名称 : ドンキ商事
問い合わせ先 : 00-0000-0000

備考

担当者名

3 単票送り状の運用と仕様について

◆ 単票送り状の運用について

- i. 単票送り状は、各店舗同日納品に対して1枚を商品の親個口に同梱してください。
なお、PPIH提携物流センターご利用の場合、貴社とPPIH提携物流センターとの間で取り決めた所定の書面（積荷明細など）は引き続き必要となりますので、取り決めに沿ってご用意ください。
- ii. 店舗で検収印を押すような返送／貴社控えの運用はございません。
受領内容については受領データ・受領訂正データをご確認ください。

◆ 単票送り状の備考欄の使用について

- i. 出荷データ送信後の「数量訂正に伴う金額の訂正がある場合」は、単票送り状の備考欄に記載をしてください。
「訂正時必須項目」
 - ・ 該当伝票番号
 - ・ 該当行
 - ・ 該当行の訂正数量数
 - ・ 担当者名欄に記名もしくはご捺印※訂正内容について納品先から確認が必要な場合、本項目記載のご担当者様にご連絡させていただきます。

【数量訂正例】

単票送り状の備考欄拡大

備考
■数量訂正をお願いします。 ①該当伝票番号：987654321／該当行：2行目／数量：5から「3」へ訂正
担当者名 やまだ

訂正作業者が認識齟齬を起さない記載方法にしてください

- ii. 備考欄に書ききれない場合は、備考欄に「別添資料あり」と記載し、単票送り状とセット（ホチキス止めなど）で別紙記載対応してください。

※原価訂正、商品コード訂正の場合は、単票送り状での訂正は行わず、当グループ各担当者へ連絡してください。運用ルールP.8参照。

4 受領・受領訂正データについて

◆受領データの送信タイミングについて

出荷データを正常に受信し、計上日（店着日）の翌日AM7時以降に配信します。

◆受領データの金額について

受領データ内の「（受領）税額」項目は小数点以下の金額が発生した場合、実際にお支払いする金額と相違する可能性があります。実際にお支払いする金額は「（受領）税額合計金額」項目の合算になりますのでご注意ください。

◆値引き・返品データについて

受領データには、返品、値引きの情報は含まれていません。

◆受領訂正データについて

受領データ配信後に修正（伝票内容の訂正など）が発生した場合は、発生都度配信いたします。

5 その他

◆マイページについて

DMSサービスをご契約のパートナー様に、プラン／オプションなどの追加や変更ができるマイページをご用意しております。

ログインページ：<https://dms.realit.co.jp/auths/login>

操作についてはマニュアルを参照ください。下記サイトからマニュアルをダウンロードできます。

DMS専用Webサイト：<https://dms.realit.co.jp/docs>

i.ご登録いただいている各窓口の担当者情報（営業、システム、経理）の変更は、マイページからパートナー様ご自身でご変更をお願いいたします。

プラン・オプション・データ種の変更・追加は、マイページより申請いただきますと、弊社よりご連絡させていただき変更・追加対応を進めさせていただきます。

ii.マイページのパスワードは各窓口（営業、システム、経理）担当者共通となっております。

パスワードをお忘れの場合、パートナーコードと窓口担当者のメールアドレスにてパスワードの再設定を行い、各窓口担当者に新しく設定したパスワードの共有をお願いします。

※同一パートナーコードで生鮮プランもご契約いただいている場合、

パスワードはすべて共通となりますので、再設定された際はすべての担当者に共有するようお願いいたします。

◆ご利用料金について

DMSサービスの利用料金は、リテールごとの商品仕入れ代金より相殺させていただきます。

請求書の発行はございませんので、毎月メールにてご案内しております「DMS利用明細書」を、マイページよりご確認ください。

1 お問い合わせ先について

DMSサービスについてご不明な点がございましたら、電話もしくはメールにて以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

《ご注意》

発注内容や商品マスタについては発注元（当グループ店舗・MD）へご確認ください。

また、仕入代金のお支払いについては「支払明細書」にてご確認ください。

「支払明細書」につきましては、アクリーティブ買掛管理課(TEL：047-700-4714)へお問い合わせください。

お問い合わせ内容	お問い合わせ先
<p>システムに関するお問い合わせ 画面ログインできない、データのやりとりについて 聞きたいなどシステムに関すること 一式について</p>	<p>日立システムズヘルプデスク TEL:0570-011-019 受付時間:24時間365日受付 MAIL :dms@realit.co.jp ※件名の最初に【DMS】とご記入のうえ、送信ください。</p>
<p>運用に関するお問い合わせ 運用ルールに記載されている内容について 確認したい/DMS利用明細書と書かれているpdf について確認したい</p>	<p>リアリット TEL:03-6808-0108 受付時間:平日10時~18時 MAIL :eisui@realit.co.jp ※件名の最初に【DMS】とご記入のうえ、送信ください。</p>
<p>リードタイム・商品マスタについて リードタイムの設定変更・商品マスタ等 について相談したい</p>	<p>担当MD…該当の各所へご連絡ください</p>
<p>納品について 実際の納品について内容の訂正・ 相談・確認したい</p>	<p>各店舗・担当MD…該当の各所へご連絡ください</p>
<p>仕入計上・支払明細書pdfについて 伝票計上の内容について問い合わせたい ／経理から案内された IDとパスワードで確認している支払明細書pdf について確認したい</p>	<p>アクリーティブ買掛管理課 TEL:047-700-4714 受付時間:平日:10時~18時</p>

弊社DMSサービスをご検討いただき、誠にありがとうございます。
 下記のフローにて、Webからお申し込みとご契約、システムテスト、本番開始となります。
 システムテストは日立システムズがご対応させていただきます。

DMS専用Webサイトよりお申し込みフォームへご入力と規約同意

<https://dms.realit.co.jp/partners>

✉ 件名「【PPIHグループ】【DMS】利用申込内容について」

お申し込み内容受付完了のお知らせメールを送付します。
 システムテスト、ご契約内容についてそれぞれ各担当部署よりご連絡させていただきます。

■ システムテスト・稼働関連 ■

✉ 件名「【PPIHグループ】【DMS】設定シートのご案内(000000)」

システム窓口としてご登録いただいた方のみ送信するメールとなります。
 パートナー様用マイページご案内もこちらのメールにございます。

設定シート提出後

日立システムズ
対応範囲

✉ 件名「【DMS】システムテストのご案内 (疎通・納品テスト_パートナー様名)(000000)」

システム窓口としてご登録いただいた方のみ送信するメールとなります。
 指示通りにテストへのご対応をお願いします。

～～～

システムテスト結果（不備も含め）や今後の対応依頼が上記メールへの返信
 というかたちで送信されますので、見落としのないようお気をつけください。

■ 契約内容の確認 ■



契約条件などの確認架電

リアリットよりお申し込み内容確認
 のご連絡をします。

日立システムズからテスト完了の通知後



本番開始期日のご相談架電

リアリットより本番開始日についてご連絡します。

確認完了

✉ 件名「【PPIHグループ】【DMS】運用開始についてのお知らせ(000000)」

本番開始日や料金発生日などを記載したメールを本番開始日決定後に送付します。

FAXCSVデータを申し込みしている場合のみ



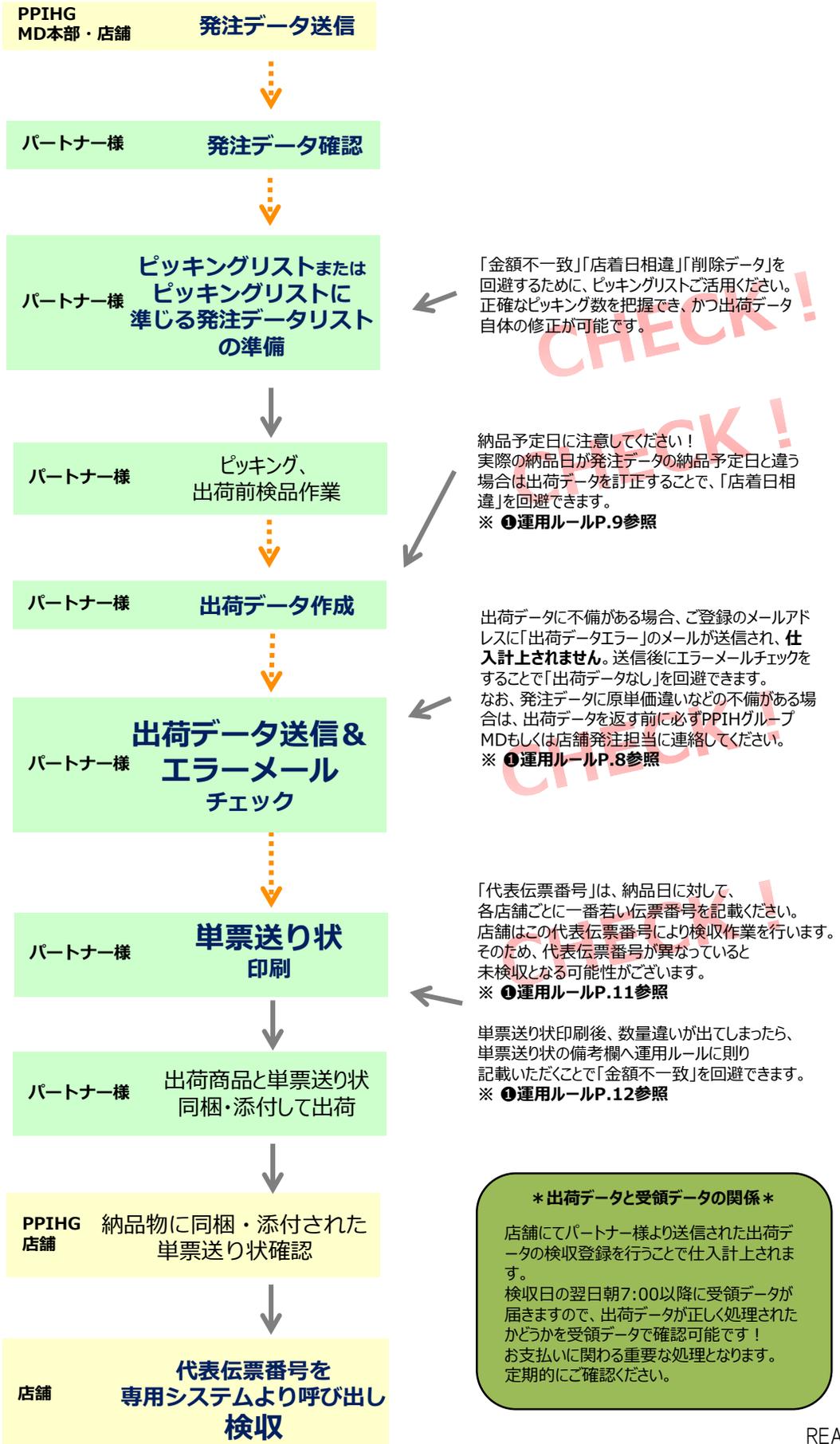
件名「【確認依頼】【PPIHグループ】【DMS】FAX及び電話番号のご確認」

FAXCSVデータ取得をお申し込みのパートナー様向けの確認内容となります。

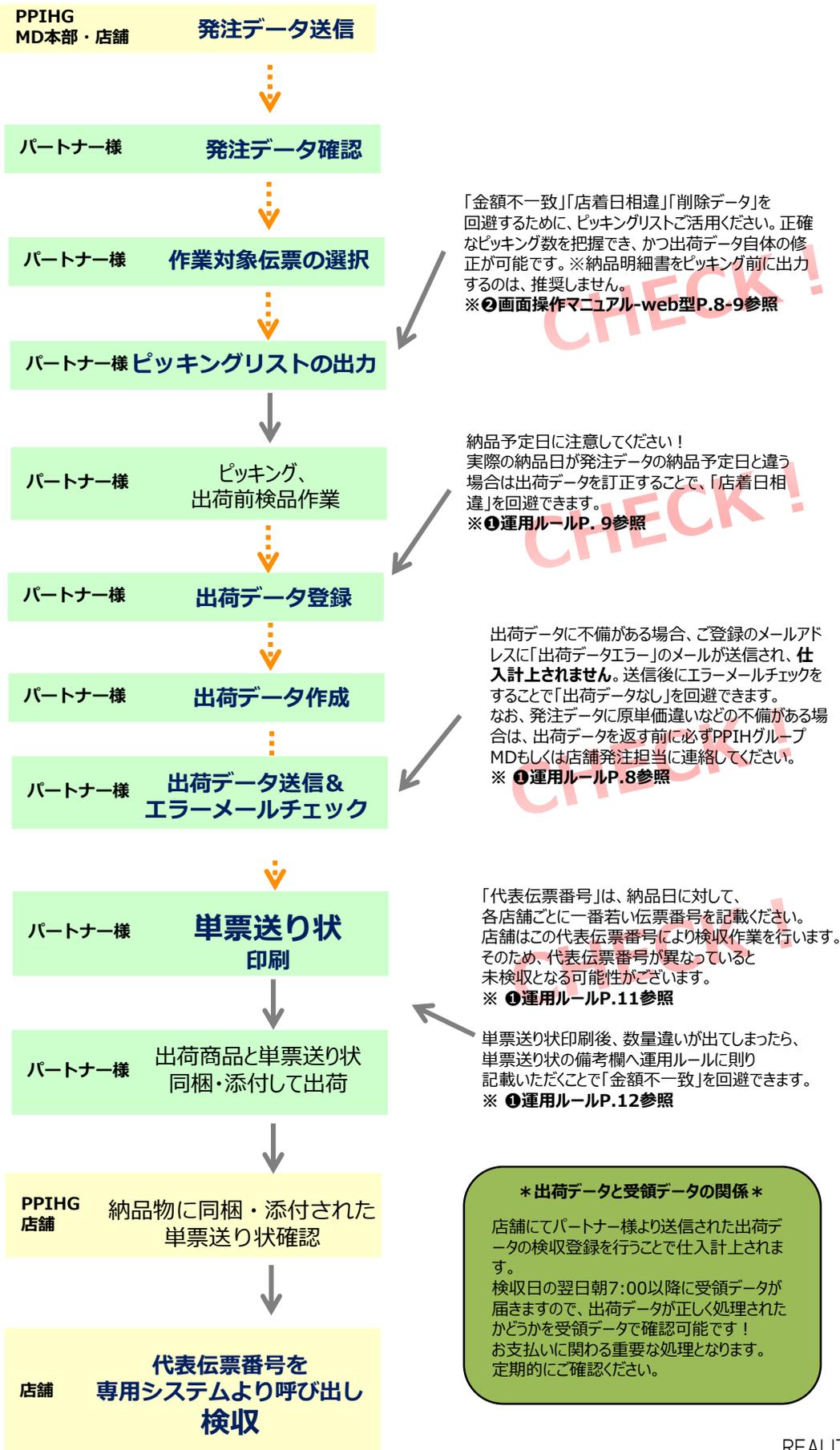
本番稼働日15時以降の発注データがDMSから受け取れます。
本番稼働日であっても15時以前の発注データは伝票での対応をお願いします。

※ご利用開始の流れはあくまでも基本的な流れとなりますので、パートナー様のご状況によりそのほか別途確認、ご連絡、ご対応が発生します。

発注データの確認から仕入計上までのPPIHグループ推奨工程です。
この流れに沿って発注データ確認から出荷まで行っていただくと、エラーや不備がおこりにくく、
DMSサービスのメリットを最大限に享受いただけます！



発注データの確認から仕入計上までのPPIHグループ推奨工程です。
この流れに沿って発注データ確認から出荷まで行っていただくと、エラーや不備がおこりにくく、**DMSサービスのメリットを最大限に享受**いただけます！



2025年4月以降、メーカー直送の運用方法に変更点がございます。
仮伝票利用納品時の“メーカー直送”運用について、少しでも理解が深まりますと幸いです。

☑ 2025年4月以降の“メーカー直送”の定義とは？

商品を納品するときには、同じ伝票番号内の商品は一式として納品していただくのが基本です。とはいえ、ときには同じ伝票番号内の商品が一式で納品ができないときも……
そんなときに活躍するのが“メーカー直送”です。

“メーカー直送”は、同じ伝票番号内でモノを一式で納品できないときの

「別納・分納になりますよ」というフラグ、

と覚えてください。★「運用ルール（流通BMSプラン・Web型BMSプラン）」P.10を参照ください。

メーカー直送運用で
必要な出荷データ作成時の作業



> “メーカー直送”となる伝票の行番号に出荷データ上の「直送フラグ」を
「メーカー直送」としてください。

> 店舗に、出荷データの納品予定日は最初に届く納品物の納品日としてください。

1行の発注に対して
複数拠点から配送が
ある場合も、同様の
処理をしてください。

1 一部商品をメーカー直送もしくは別拠点にて店舗に納品する場合



2 単票送り状の添付ができない拠点からの納品の場合



EDIシステム基盤の再構築に伴い、DMSサービスご利用パートナー様の運用ルールの一部に変更がございますので、ご案内させていただきます。具体的な変更は以下をご確認ください。

※2024年6月6日ご案内時とは変更内容が一部修正となっておりますこと、ご注意ください。

2025年4月22日～個別の納品明細書廃止通知までは納品明細書と単票送り状の併用期間となります。
この期間においては納品明細書と単票送り状を両方合わせて納品ください。

■主な変更POINT■



納品明細書が不要。
代わりに単票送り状の
同梱が必要。



出荷データ送信後の
数量訂正方法



メーカー直送の
運用方法



同一伝票番号内すべ
てが欠品時の処理

■変更前■

納品物と一緒に
納品明細書の添付が必要です。

納品明細書に手書きで訂正を
入れてください。

同一伝票番号に対して
別納・分納・複数梱包が発生した場合、
出荷データ上は“メーカー直送”フラグの利用
+メーカー直送分の商品に
仮伝票を同梱して納品が必要です。

該当伝票番号の発注データに対して
【数量0で出荷データを送信】もしくは
【出荷データ自体を送信しない】
のどちらかをお願いしています。

■変更後■

各店舗同日納品に対して
1枚「単票送り状」を親個口に同梱してください。
[主な記載内容] 代表伝票番号/個口数/GPなど
詳細はP11参照

※すべての納品経路に対して必要となります※
*25年4月22日～個別の廃止通知までは
納品明細書と単票送り状を併用してください。

「単票送り状」の備考欄に
訂正内容を記入してください。
詳細はP12参照

同一伝票番号内で別納・分納が発生した場合、
メーカー直送の対応が必要です。これまでとルールに
変更点がございますので、必ず詳細を確認ください。
*注意*これまで同一伝票番号内で複数梱包になる
場合もメーカー直送フラグを立てていましたが、複数
梱包の場合は必要なくなります
詳細はP10参照

同一納品日同一店舗への納品がすべて欠品の場合
【出荷データを返さない】で統一してください。
※同一納品日同一店舗で、一商品でも納品が発生する
場合は、出荷データを返していただいて問題ありません
詳細はP9参照



仕入計上に関わる点に
ご注意ください！

☑ メーカー直送分を含む伝票番号の納品予定日は一番最初に納品される商品の納品予定日にしてください！

納品予定日は、これまで一番遅い商品の納品予定日を入力していましたが、
25年4月以降は同一伝票番号内で一番最初に納品される商品の納品予定日の入力正しい運用となります。お気をつけください。

☑ 同一納品日にメーカー直送分を1件でも含む場合、仕入計上が遅れる可能性があります！

25年4月以降*は、パートナーコードごと各店舗同一納品日に納品されるすべてのものがそろってはじめて仕入計上となります。
パートナーコードごと各店舗同一納品日にメーカー直送が1件でも発生している場合は、メーカー直送分が確認されるまで
仕入計上保留となりますので、メーカー直送分以外の伝票番号の商品も合わせて計上がずれる可能性があります。
そのため、特に月をまたぐ可能性のあるタイミングでのメーカー直送の扱いはご注意ください。

*これまでは伝票番号ごとに仕入計上を行っていた

【運用ルール変更予定スケジュール】※6月6日時点のご案内から一部変更がございます。

▼2025年4月22日納品分以降

単票送り状（※すべての納品経路で必要）+納品明細書 併用期間開始
出荷データは新しい運用ルールにもとづくデータ作成開始

▼2025年7月以降

リアリットよりお声がけさせていただいたパートナー様より順次納品明細書添付を廃止、
単票送り状のみ添付いただく運用へと変更予定

*併用期間中の出荷精度及び単票送り状を正しく運用されていたパートナー様より、
25年7月以降順次納品明細書は廃止となります。
廃止の通知があるまでは、「単票送り状+納品明細書併用運用」をお願いします。